

## 令和4年10月 月例記者会見(令和4年10月5日)市長原稿

皆さま方には、平素より市政運営にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。  
それでは、10月月例記者会見の資料についてご説明申し上げます。

まず、9月26日に報道発表いたしましたスプリンクラー作動に伴う裾野市民文化センター大ホールの使用休止についてです。

9月24日の午後1時ごろ、裾野市民文化センター大ホールにおいて、舞台上のスプリンクラーが作動いたしました。

舞台上には、午後2時から開演予定だった『オーケストラを聴こう!』のため、ひな壇や反響板、オーケストラ機材などの配置が終了しており、これらの設備や楽器が浸水しました。

原因については現在も調査中です。

本件発生当日の専門業者による調査により、スプリンクラーに異常や故障が無かったことを確認しています。

このことを踏まえ、人為的操作の可能性があることから、本件発生当日に裾野警察署への相談を行い、現在も調査にご協力をいただいています。

当市側の被害につきましては、舞台の床、反響板、音響設備、照明設備、グランドピアノなどが浸水し、点検や修繕が必要な状況です。

また、楽団側の被害につきましては、自主事業の実施主体であって楽団との契約相手である指定管理者が調査中ではありますが、昨日の報告によると、楽器、楽譜、演者衣装などが浸水したほか、楽器の搬出作業中の転倒により怪我をされた方が2名いらっしゃるということです。

楽器が水損したこと、怪我をされた方がいらっしゃることににつきまして、楽団の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

本件により、当面の間、大ホールの使用を休止することといたしました。

予定されていた大ホールでの事業につきましては、会場の移動などを調整しています。

また、予定されていた特定天井落下防止措置工事については、大ホールと多目的ホール共に、現時点で取りやめとすることといたしました。

可及的速やかな原因究明のため、警察への相談、業者による調査などを全力で進めているところであります。

続いて、資料No.2 をご覧ください。

この度、「魅力ある裾野へ」をテーマに、「裾野市企業立地方針」を策定いたしました。戦略的に企業の立地を推進し、土地の有効利用を図り、企業定着・企業誘致を促進することで、税収の増加及び雇用の創出、雇用の維持を図っていくことを目的としています。また同時に、市内外に対し、企業誘致・企業留置に関する施策に積極的に取り組んでいくという意思を明確に発信することも目的としています。

詳細につきましては、担当の 渉外課 長澤主事 から説明します。

【説明：渉外課 長澤怜志 主事】

資料No.3 をご覧ください。

国では、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税非課税世帯等に対して、一世帯当たり、5万円を給付することを決定しました。

対象世帯については、昨年度と今年度を実施した非課税世帯等への臨時特別給付金と同様となる予定で、対象世帯は、4,000世帯を想定しています。

また、給付については、10月下旬から11月中旬ごろに対象世帯に通知を発送し、1月末までの受付を予定しています。

資料No.4 をご覧ください。

新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチン接種及び小児3回目接種についてです。

オミクロン株対応ワクチン接種につきましては、既に国の方針が報道されておりますとおり、対象は、裾野市に住民登録があり、

- ・ 前回接種から5か月以上経過していて、3・4回目接種を希望する12歳以上の方
- ・ 前回接種から5か月以上経過していて、5回目接種を希望する高齢者、基礎疾患を有する方、医療従事者など

です。

予定している人数は約4万人で、10月中旬から福祉保健会館での集団接種を実施します。

当面、個別接種の予定はありません。

令和4年7月から9月に集団接種で接種を行った方につきましては、あらかじめ日時・会場指定をする方法で調整しております。

接種券は既に送付済の接種券も使用できますが、令和4年10月初旬から、これまでに3・4回目接種券を送付していない方に準備ができ次第発送しますので、今しばらくお待ちください。

続いて、小児の3回目接種です。裾野市に住民登録があり、初回接種から5か月以上経過している5歳から11歳までの方が対象で、予定している人数は約700人です。

接種券発送は令和4年10月初旬以降で、これまでに小児初回接種が終了している方

に順次発送します。

接種は10月15日（土）、11月12日（土）午後に福祉保健会館でファイザー社製小児用ワクチンを使用しての集団接種を予定しています。

接種の予約や指定日の変更は接種券に同封の説明書又は市ウェブサイト等をご覧ください。

皆様のご協力をお願いいたします。

資料No.5をご覧ください。

ヘルシーパーク裾野グランドオープンについてです。ヘルシーパーク裾野は、8月1日から「株式会社 富士開発」が新指定管理者となり、8月6日から温泉施設のみプレオープンしておりました。

この度、施設や各種サービスの準備が整い、令和4年10月1日にグランドオープンを迎えました。

新たに2つのサウナや、レストランも営業を開始しました。ご来館の皆様には、リニューアルした上質な施設でのサービスをご堪能いただくことができます。

なお、10月からヘルシーパーク裾野では150円の入湯税をいただいております。

裾野市民の方は、住所確認のために運転免許証又は健康保険証等の身分証明書をご持参いただきますと入湯税が免除となります。お忘れのないようよろしくお願いいたします。

利用料金及びその他詳細情報は市ウェブサイトをご覧ください。

この機会にぜひ、ご来館ください。

資料No.6をご覧ください。

秋の3大イベントについてです。

市議会6月及び9月定例会の補正予算で、ご承認いただきました、3つのイベント（①富士山すその阿波おどりとのはじまりの森、②市民のふれあいフェスタすその2022、③秋花火まつり）の概要につきまして、開催順にご紹介いたします。

まず、一つ目の富士山すその阿波おどりとのはじまりの森につきましては、前回、8月の定例記者会見でも紹介いたしましたが、この週末の3連休の中日（なかび）の10月9日（日）に、裾野市役所前駐車場で開催します。

本年は、昼間に市役所庁舎前駐車場にステージを設け、見て、踊って、体験する、ワークショップ的な要素を盛り込んだ、新たなイベントとして開催します。ステージでの阿波おどりの出演時刻は11時と13時、15時の3回です。

また、阿波おどりに加え、「のはじまりの森」という出店団体の協力を得ながら、買い物や体験を楽しめる約50のブースが出店し、お祭りを盛り上げます。

取材していただける記者の皆様には、駐車券をお渡しいたしますので、記者会見終了後に産業観光課までお越しください。

次に、2つ目の市民のふれあいフェスタすその2022であります。阿波おどりの翌週の週末、10月15日（土）、16日（日）の2日間で、開催場所は裾野市民文化センターです。

主なイベントは、商業ブースのスタンプラリーによる抽選会、工業ブースのミニロボサッカーゲーム、観光ブースの写真パネル展示、建築ブースの住宅・不動産フェアなどの出展のほか、青年部によるキッズコーナーや女性部によるハロウィーンカフェなどが予定されています。

また、今回はトヨタ自動車様、ウーブン・アルファ様のご協力を得て、燃料電池車（FCV）のミライを使用した水素エネルギーのPRや、パーソナルモビリティ、C+walk（シーウォーク）の体験試乗を行うことになっています。

取材していただける記者の皆様には、後日、駐車券をご用意いたしますので、産業観光課までご連絡をお願いします。

3つ目に、すその夏まつり代替イベントとして実施される「秋花火まつり」であります。主催は一般社団法人裾野市観光協会をベースとした「すその夏まつり代替イベントにぎわいプロジェクト」です。

開催日は11月19日（土）で、実施場所は、イベント会場は市民文化センター駐車場です。

市民文化センターにおける主なイベントの内容は、気球の体験搭乗、各種ステージイベント、飲食ブースの出店等であります。また、農業まつりを同時開催するため、地元野菜の即売会も予定しております。

花火の打ち上げ開始時間は18時からです。

詳細につきましては、今月中にチラシを作成し、全世帯に配布する計画です。完成次第、再度、記者の皆様へリリースいたします。

関係者一同、ウィズコロナ時代にふさわしいイベントにしていこうと、一致団結して取り組んでまいりますので、是非とも取材をよろしくをお願いします。

資料No.7をご覧ください。

「SUSONO MTB CHALLENGE 2022」の開催についてです。

オリンピックレガシーイベント及びスポーツツーリズム事業の一環として、11月11日（金）・12日（土）・13日（日）にマウンテンバイクの大会を開催いたします。

詳細は産業観光課の担当 内田主査より説明させていただきます。

【説明：産業観光課 内田 辰也 主査】

資料No.8をご覧ください。

裾野駅に電動アシスト自転車のシェアサイクルを設置する新たな取り組みについてであります。

市民の暮らしの質の向上や観光客の移動のしやすさを高め、エリア価値の向上に寄与す

ることを目的に、10月1日から半年間、試験的に運用するものです。

詳細は産業観光課の担当 内田主査より説明させていただきます。

【説明：産業観光課 内田 辰也 主査】

資料No.9 をご覧ください。

市ホームページを通じて市民の皆様のお困りごとをお寄せいただく「身近なお困りごとメール」に、写真や位置情報を添付できるよう機能を改良し、8月23日（火）より運用を開始いたしました。

これは市民から「場所や写真を添付できる機能があると良い」というご意見をお寄せいただいたため、これを受けて入力フォームの改良を行ったものです。

8月23日の運用開始以降、9月30日までの間に「身近なお困りごと」にお寄せいただいた74件のメールのうち、37件に写真や位置情報の添付がありました。

この改良により、お困りごとがある場所や現地の状況を即座に把握できるようになり、担当課の対応もより迅速に行うことが可能になりました。

これからもお寄せいただいたご意見を元に、改善を重ねてまいりたいと考えております。

資料No.10 をご覧ください。

裾野市、及び裾野市教育委員会で後援しております演劇『一枚の絵』の公演開催について、ご案内させていただきます。

『一枚の絵』は、ふじのくに芸術祭2021 第61回静岡芸術祭の 戯曲・シナリオの部におきまして、最優秀賞にあたります「芸術祭賞」を受賞した たけしま ひでこ 竹島 秀子 さんの作品、題名『一枚の絵』を、静岡県芸術祭演劇創作実行委員会が舞台化するものです。

公演は令和4年11月19日（土曜日）と11月20日（日曜日）の2日間、全4回の公演となっております。

場所は、裾野市民文化センター多目的ホール。ストーリーのはじまりとなる富士山の絵は、市内の画家で、パリ国際サロン2022でネプ賞を受賞した、杉本 秀子さんに描いていただいております。

本公演を行います 静岡県芸術祭演劇創作実行委員会は、静岡県芸術祭の優秀作品をもとに、舞台演劇化しようと県内演劇関係者で組織されました。今回、その初の試みとなります。

裾野市におきましては、水ヶ塚富士山の風景がご縁でご協力をさせていただいておりますが、裾野市に文化的な刺激を加え、少しでも演劇に対する関心を高めればと考えております。

市民の皆さまだけでなく、多くの方のご来場をお待ちしております。

【質疑応答】

資料No.11 をご覧ください。

人材派遣を業とする日総ブレイン株式会社様と、地方創生に関する協定を結びます。  
日総ブレイン様が地方自治体と連携協定を締結するのは当市が全国で初とのこと。  
今後、日総ブレイン株式会社様と連携して当市における就業人口の増加、U・Iターン  
移住者の増加に対し取り組んでいきたいと考えております。

詳細は戦略推進課の担当 安倍主事より説明させていただきます。

【説明：戦略推進課 安倍 健 主事】